

千葉科学大学 学生警察支援サークル「スターラビッツ」 (千葉県)



ACTIVE～高めよう！地域の防犯力

徒歩・自転車・自動車、各警ら班による特性を活かした防犯活動

1 活動地域の紹介

私たちの大学が所在し、主な活動地域である千葉県銚子市は、利根川河口南側に発達した醤油醸造と漁業、内陸部の畑作農業並びに犬吠埼を中心とした観光のまちです。

銚子市は江戸時代、江戸と全国を結ぶ物資輸送の水運と海運との分岐点にあたり、物資の積み替え港として発展しました。

銚子漁港は明治時代から現在に至るまで、沖合いや遠洋漁業の基地として全国一、二の水揚げ量を誇っています。

2 団体の概要

(1) 私たちの大学

私たちの在籍する千葉科学大学は、銚子市の南側に位置し、広大な太平洋や日本のドーバーとも呼ばれる断崖絶壁の屏風ヶ浦を一望することができる素晴らしい教育環境の中にあります。私たちの大学は「薬学部」と「危機管理学部」からなり、「健康で安全・安心な社会の構築」を研究目的に掲げています。

(2) 私たちのサークル「スターラビッツ」

私たちの警察支援サークル「スターラビッツ」は、平成 18 年 5 月、市内の犯罪抑止や防犯啓発活動を目的に学生 10 人で発足しました。

発足後の 5 月 31 日には、銚子警察署との間で、銚子市内の犯罪抑止と危機管理等の実践を目的とした「地域安全に関する覚書」を締結、以降現在まで警察や市民ボランティア等と連携した防犯活動を展開しています。

(3) 「スターラビッツ」の現在の隊員構成

隊長以下52人の学生により構成され、

ア 第1地域班、第2地域班（徒歩警ら担当）

イ 自転車警ら班

ウ 自動車警ら班

に分割し、各班週1回（月間約16回）のそれぞれの特徴を生かした活動を展開しています。

その他、実動班を退いた上級生が隊指導部として在籍し、防犯活動における様々な指導を実施し、また、広報部も設置、隊員の活動を大学の広報誌や民間報道機関等へ広報し、学生や市民に周知してもらうことにより、活動の円滑化や組織の拡大を図っています。

3 活動状況

(1) 地区防犯ボランティアと連携した活動

銚子市内には私たち「スターラビッツ」の他にも防犯指導員等の防犯ボランティア団体が存在します。

それらの団体の方と日程を調整し、合同パトロールを実施しています。

合同パトロールにより、それぞれの地区の情報を入手したり、時には人生の先輩としての良き相談相手にもなってもらっています。また、「若い者には負けてられない意識」の向上になっているとも思っています。

(2) 青色防犯パトロール車による警戒地域の広域化

平成22年8月には、大学側の全面的な支援のもと「スターラビッツ」に青色防犯パトロール車を導入し、パトロールによる防犯活動の機動性が向上し、より一層の広域化を図っています。しかし、本年3月の東日本大震災による津波により、本大学も被災し、初代青色防犯パトロール車も廃車となってしまう、現在は2代目の青色防犯パトロール車が活躍中です。

(3) 立ち寄り所を指定した情報交換

市内の幼稚園や土産物店、コンビニエンスストアの協力を得て、私たちの「立寄所」に指定させていただき、「警察官立寄所」を模した「スターラビッツ立寄所」のプレートを貼付、主に徒歩パトロールの際に立ち寄り警戒を実施し、情報交換を行っています。時には、おやつをいただき、最近のおやつ事情についての情報交換を実施することなどもあります。

(4) 警察署との連携

「スターラビッツ」では月1回、警察署において「PS会議」を開催しています。

「PS会議」の内容は、警察署側からは市内の犯罪に関する最新情報の提供、スターラビッツ側からは各警ら班ごとの活動報告や警らにより気が付いた事項、例えば少年のい集場所等の情報交換などを実施しています。

また、年に2回程度、警察署の道場において警察本部の術科の先生による護身術訓練を実施していただき、有事の際の事故防止を図っています。

4 今後の活動目標

「スターラビッツ」では、今後の目標として小・中学校における薬物乱用教室等の実施を計画し、警察署と調整中です。

千葉科学大学 学生警察支援サークル 「スターラビッツ」(千葉県)



こんにちは。千葉県銚子市から参りました千葉科学大学学生警察支援サークル「スターラビッツ」です。私は、隊長の木崎と申します。今日はよろしくお願いいたします。

こちらは、千葉県警察銚子警察署生活安全課後藤課長、千葉科学大学危機管理学部教授の坂井先生、そして本日パソコン等を担当する善当と田中です。

それでは発表をはじめさせていただきます。

活動地域の紹介

私たちの大学があり、私たちの主な活動地域がある千葉県銚子市は、利根川河口南部に発達した醤油醸造と漁業、内陸部の畑作農業、並びに犬吠埼を中心とした観光のまちです。

私たちの在籍する千葉科学大学は、銚子市の南部に位置し、広大で太平洋や日本のドーバーとも呼ばれる断崖絶壁の屏風ヶ浦を一望できる素晴らしい環境の中にあります。

大学とサークルの紹介

「人を助けたいという人の大学」ということで知られる私たちの大学は、危機管理学部と薬学部からなり、健康で安全・安心な社会の構築を研究目標に掲げています。

私たちのサークル「スターラビッツ」は、学生有志10名が平成18年に立ち上げました。発足後すぐに銚子警察署との間で、こちらの地域安全に関する覚書を締結しています。以後、警察と連携した防犯活動を展開しています。

スターラビッツとは？

学生有志10名が平成18年5月19日に立ち上げた。

銚子警察署と
防犯活動を強化するための
「地域安全に関する覚書」
を締結している



マスコットキャラクター



エンブレム

POLICE SUPPORTER
**STAR
RABBITS**

ロゴ

スターラビッツの制服

制服制帽夏服



制服制帽冬服



こちらは、サークルのマスコットキャラクター、エンブレム、ロゴです。私たちが現在着ているのが制服となっています。

現在の隊員数は53名です。執行部が中心となって防犯対策を行っています。先日までは地域第1班、地域第2班、自転車警ら班、自動車警ら班の4班体制でしたが、つい最近、防犯教室、薬物乱用教室等の啓発活動を受け持つ班が独立して5班体制になりました。また、自転車警ら班は、バイクを含めて遊撃二輪警ら班に名称を変更しました。

各班の活動内容

続いて、私たちの活動をご紹介します。

まず、防犯パトロールの活動です。これは一番メインの活動です。防犯パトロールは、5班のうち、地域第1班、遊撃二輪警ら班、自動車警ら班の3班が行っています。

まず、地域第1班の活動ですが、

パトロールは大体週1〜2回、防犯会議を月1〜2回行っています。防犯の啓発に役立つ活動はその都度行っており、LFPといって、これはLast Friday Patrolの略ですが、月の最後の金曜日にパトロールを行っています。これを警察官や、防犯指導員、地域の防犯ボランティア団体の方と一緒にしています。

次に、遊撃二輪警ら班の活動ですが、

主に自転車やバイクで防犯パトロールを行っています。銚子は非常に細い路地が多く、バイクの機動力を活かしてきめ細かく広域的にパトロールを行っています。

活動内容は、防犯パトロールは週1回、交通立寄所月1回、自転車盗難防止の啓発月1回、その他の各種啓発活動、事故対応がその都度で、自主訓練が月1回等となっています。

次に自動車警ら班の活動ですが、

平成22年8月、大学の全面的な支援により、青色回転灯防犯パトロールカー、通称「青パト」を導入しました。主に、この青パトを使ってパトロールしています。

活動内容は、防犯パトロールを週1回、交通立寄所への立ち寄りを週1回、市立銚子高校での自転車啓発活動を月1回、その他の各種啓発活動、事故対応をその都度行い、自主訓練を月1回行っています。悪天候、台風などの際、道路の安全のためのパトロールを行ったりもしています。また、落下物処理という活動もあります。道路上の落下物が事故を引き起こす危険があるため、見つけたら処理をしています。

以上3班の活動内容を発表しましたが、次にその他の2班の活動について発表します。

まず、地域第2班です。

大学に遠くから通学しているためなかなか時間をつくれない人たちがこの地域第2班に所属しています。

これまでの説明で「立寄所」という言葉が何度か出ていますが、市内4か所のお店、幼稚園、公園や駅などを私たちの立寄所として指定させていただき、「警察官立寄所」を模した「スターラビッツ立寄所」のプレートを貼ってもらっています。地域第2班は、徒歩パトロールの際にこの立寄所で市民の方々と情報交換を行っています。

その他情報交換の場には、「PS会議」、班会議、リーダー会議などがあります。「PS会議」のPSとはPolice Station、警察署のことで、月に1回程度、警察署の会議室をお借りして情報交換を行っています。先月の反省点、今後の活動方針や活動内容を確認したりしています。

千葉県には、「ブルー・スターズ」という自主防犯活動への意欲のある若い世代による防犯ボランティア団体があり、私たち「スターラビッツ」も所属しています。地域第2班は、「ブルー・スターズ」の活動の企画も担当しています。

防犯パトロール
組織の紹介



学生警察支援サークル スターラビッツ 執行部

自動車警ら班

次に、防犯啓発班です。

この班は、先月地域第2班から独立したばかりの新しい班です。まだ、これといった活動はできておりませんが、今年から幼稚園、小学校中学校高等学校で防犯教室や薬物乱用教室などを行っていく予定で、それに向けて今計画や話し合いを進めている状況です。

また、その他にも、幼稚園訪問や各種啓発活動にも参加します。

最後に、広報班について説明します。

この班は、実際に防犯パトロールなどを行ったりする先程までの5班とは別に、広報部として構成されています。

活動内容は、ポスター、チラシの制作、ホームページの運営等です。

ビッグプロジェクトの紹介

次に、私たちが最近行った大きなプロジェクトをご紹介します。プロジェクト名は、「銚子ドーバーライン違法ビラ撤去大作戦」です。

銚子ドーバーラインとは、銚子の屏風ヶ浦に沿って走っている道路です。この写真を見ていただいてもわかるように、違法のビラが大変目立つと思います。これらを撤去するわけですが、すぐ近くをクルマが通る危険な場所での作業のため、いつもこちらをクルマでパトロールしている自動車警ら班の指導の下、安全なクルマの降り方・乗り方を練習した上で行いました。ビラが何枚にも重なっていたりして大変な作業でしたが、ビラを撤去したあとの道路を走るのは快適でした。次は、ただ剥がすだけでなく、いかにビラを貼らせないかという方面からの検討も必要ではないかと考えています。

この他に、最近多くの人が自転車窃盗の被害に遭っていることから、「自転車窃盗対策本部」を設置しました。今後どのように活動をするかは現在検討中です。



啓発活動

次に、啓発活動についてご紹介します。

これは、飲酒運転撲滅のために、お店の方に啓発をお願いしている写真です。

これは、今ご紹介した自転車窃盗防止の活動の様子です。この市立銚子高校は、自転車盗難防止推進モデル校に指定されています。

また、振り込め詐欺に対する啓発も行っています。銚子市内でも振り込め詐欺の被害が発生したと聞きました。銚子はとくにお年寄りが多いので注意しなければならないと思いました。最近は、振り

込め詐欺ではなく、「『しじみ』 買いませんか」と訪れて代金をだましとる詐欺が市内で流行っています。皆さんも十分注意してください。

これは、交通安全フェアのときの写真です。こういった市民の方々との交流・啓発の場は、市民の方々に私たちの顔、ユニフォームを覚えていただき、また私たちも市民の方々の顔を覚え、市民の方々とよりよい関係を築くために絶好の機会だと思っています。



警備活動

次に、警備活動についてご紹介します。



交通規制。これは銚子の商店街の「軽トラ市」のときの写真ですが、毎月第4日曜日に行っています。今日も第4日曜日なので、銚子ではうちの隊員が頑張っていると思います。

駐車場誘導。大学の入学式や卒業式のときに行います。

これは、大会の警備を全て任されたときの写真です。大会の規模が大きかったため大変でしたが、交通誘導、会場警備・巡回などを行いました。



これは、接触事故の現場で警察に通報しているところです。警察が来るまでの対応、受け渡しを行いました。

緊急警備。交通事故現場、火災現場で行う活動ですが、交通整理が主な担当で、救急車などで道路が塞がれているような場合に、安全に一般自動車が通行できるよう誘導したりしています。

最後の緊急警備を除いて、年間20回以上、200時間を超える警備活動を行っています。お祭り等、警備とは別に地域ボランティアとして参加しているものもあります。警備を通して多くの市民とふれあう中で、市民、地域について多くの情報を得ることができます。

市民から警察へ直接言いにくいことも私たちが中間に入ることで、市民から私たちへ、私たちから警察へと伝えることができ、まちぐるみの防犯に役立てることができます。



演習・訓練



そんな私たちですが、学外のパトロールや啓発活動といったメンバーでの活動とは別に、演習・訓練を行っています。

まずは、総合訓練。自転車は学校の駐車場、自動車・バイクは銚子市内の教習場をお借りして、銚子警察署交通課の指導のもとに運転技術の向上を図っています。貨物処理や警備の誘導の方法なども訓練しています。これは、防犯を掲げるものが自ら違反をしてはならない、また他のドライバーの模範となろうという意

識のもとに行っています。その他、警察や警備会社に護身術講習を実施していただき、有事の際の事故防止を図っています。

災害派遣

3.11の東日本大震災では私たちの大学も被災しました。私たちは大学の職員と学生消防隊の方々と共に作業を行いました。

この写真は銚子市の隣の旭市での活動です。土木ボランティアではなく、赤十字と連携して防犯巡回、会場管理等を行いました。

また、8月には、岩手県の釜石市で、避難所に物資を届ける作業等を行いました。これは大学としての派遣でした。さらに、9月には岩手県陸前高田市、大槌町等で救援活動を行いました。今まだ現地は復旧に至っておりませんので、時間のある方はボランティアに行ってみてはどうでしょうか。



今後の活動目標

今後の課題としては、さきほどもご紹介しましたが、市内の各小・中・高等学校における防犯教室、薬物乱用教室、地域の高齢者に対しての防犯教室等などを通じて、地域の安全安心のために頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。



- 質問 みなさん素晴らしい制服をつくったり、青パトをつくったりされていますが、財政的な面について教えてください。
- 回答 活動資金としては、学校から出る部費と、サークルとして集めている部費があります。制服はサークルで集めた部費で購入しています。財政的には厳しいですが、市や地元企業の協力も得ながら頑張っています。
- 質問 銚子警察署との間で覚書を締結したということですが、その内容はあなた方から要望したものか、警察から要望されたものか、こういった形で決められたのですか。
- 回答 学生のボランティアサークルと警察、それぞれがお互いにやれることをやろうということで、合同のパトロール、学生パトロール時の不審人物発見等の連絡など、大まかな内容は警察の方で作成して、学生の方からも意見を取り入れるという形で詰めていきました。
- 質問 かなり学生が警察と親密な関係を築いておられますが、どうすればどこまでの関係が築けるのでしょうか。
- 回答 私たちはその名のとおり「学生警察支援サークル」であり、学生として、できるかぎりの警察支援を行うことが私たちの活動目的です。そうしたことから、現在のような関係を築くことができたのだと思います。